

楠の子



佐賀県立中原特別支援学校「学校新聞」

第 5 号

令和2年12月22日発行(総務・広報部)

「ゆく年くる年」 (鳥栖田代分校教頭 大川 和広)

2020 東京オリンピック陸上男子4×100mリレー決勝。日本のアンカー、ケンブリッジ飛鳥選手が決勝点手前残り10mでトップに立ち、そのままトップでゴールテープを切った場面に多くの人々が感銘を受けました…となるはずでした。アメリカ大統領選挙ではトランプ大統領が勝利し、日米関係の継続的な協力関係の構築、国際社会の様々な課題等に引き続き取り組むこととなりました…となるはずでした。トランプ氏の大統領選挙敗北はともかく、2020年は新型コロナウイルスの影響により、私たちの想像をはるかに超える事態が様々な場面で見られたように思います。コロナ以前の「普通」が「異常」になったとまでは言いませんが、私たちを取り巻く状況が一変しました。

皆さんはアマビエをご存じでしょうか。アマビエは「疫病が流行したら、私の姿を描き写した絵を人々に見せよ」と告げた疫病をおさめる妖怪です。先日、鳥栖田代分校小学部のある児童が授業の中でアマビエっぽいイラストを描いていたのを目にしました。コロナ禍における不安を払拭するために描いたイラストかどうか定かではありませんが、それを見たときに「子どもたちも日常の中でコロナを感じているのかな」と思いました。



新しい年を迎えます。2021年は特別な丑(牛)年です。丑の字には「2021(二千二十一)」が隠れています。中原特別支援学校に通う児童生徒の皆さんが、丑のように一步一步着実に歩み続けることを願っております。そして、保護者、児童生徒、教職員にとって良い年になることを願っております。



「将来は、子どもの気持ちに寄り添える保育士になります。」 (本校舎 高等部A課程)

本校舎高等部A課程の3年生が、九州龍谷短期大学保育学科に、見事合格しました。試験に備えて、様々なテーマで小論文を書き、志望動機や自分をアピールする面接練習を、毎日繰り返しました。将来は、“子どもの気持ちに寄り添える保育士”になることが夢です。



ご指導
ありがとう
ございました!!

「現場実習・職場体験を終えて」

(本校舎 中学部)

11月30日(月)から12月4日(金)まで、本校舎中学部A課程2年4名の職場体験とC、D課程3年9名の現場実習を行いました。学校とは違う環境の中、緊張や疲れもあったことと思いますが、担当した仕事を一生懸命に取り組み、貴重な経験を通して成長しました。



「よく遊び、よく学んでいます！」

(本校舎 小学部6年生)

本校舎小学部6年生は、10月29日に小学部秋の遠足でメルヘン村に行きました。久しぶりのバス旅行でみんな笑顔いっぱいでした。まずはお弁当。サンドイッチにからあげ、おにぎり、手作りのお弁当はとってもおいしかったです。ジェットコースターに観覧車、森の電車を時間いっぱい楽しみました。ジェットコースターでは、振り落とされないように、しっかり手すりをつかんでいました。森の電車には小学部みんなで乗り、変わる景色を楽しみました。



A課程6年生は、11月6日(金)に吉野ヶ里歴史公園に行きました。社会の歴史で学習した弥生時代のむらの様子を、物見やぐらの上から見ることができました。また、はじめて勾玉作りを体験しました。高嶺石(こうろうせき)というやわらかい石を、砥石と紙やすりで削って作ります。1時間くらい集中して取り組み、完成することができました。修学旅行がなくて残念でしたが、みんな楽しい思い出を作りました。

「文化祭での作品作り★工夫がいっぱい」

(分校舎)

「すてきな作品を作ったくさんの方に見てもらおう」と、わくわくしながら作品を作りました。手先の感覚を大切にしながら色紙を破ったり、貼り付けたりしたものや、大好きな粘土をこねて楽しみながら作り上げたものなど、きらりと個性が光っています。それぞれに自分が得意な作り方で取り組みました。展示会場の映像を見ながら他の学部の作品も鑑賞しました。作品は現在、分校舎の玄関に展示して訪問された方々の目を楽しませています。



「修学旅行、秋の社会見学へ行ってきました！」

(鳥栖田代分校)

鳥栖田代分校中学部3年生は、修学旅行で、ホテルに泊まったり船に乗ったりと、普段の生活では味わえない経験を楽しみ、皆で一緒に行動して集団活動の大切さを学ぶことができました。



中学部1, 2年生は、前半就労継続支援B型事業所であるどんぐり村の仕事について、説明を聞いたり見学をしたりしました。後半は、小動物とのふれあいやバター作りなどを体験して楽しみ、有意義な社会見学になりました。



小学部は、メルヘン村へ行き、乗り物に乗ったり、小動物を見て回ったり、遊具で遊んだりして、クラスの友達や先生と一緒に仲良く楽しい1日を過ごしました。

「本校舎PTA防災キャンプ」

(本校舎PTAより)

11月28日(土)、バルーン係留体験搭乗は残念ながら風のために中止になりましたが、防災キャンプは予定通り行われました。20家族52名の参加者が、晴天の下、段ボールで作った窯でピザを焼き、ロケットコンロでご飯を炊いたりパスタをゆでたりしました。参加者が互いに協力しながら楽しく災害時の食事を作ることので、ハードルが高い「防災」のイメージを少しでも払拭し、次の活動へのステップとなったようです。

